

令和7年度 授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	君津市立周西小学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 課題解決に向けて自分の考えを共有し、学び方を工夫し、協働学習していく力
- 主体的に学ぶ力や社会に関わろうとする姿勢

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 相手への思いを持たせ自分の考えを伝える場を設定した単元作り
- 自分の考えを発信し、相手に理解してもらう経験の積み重ね

3. 具体的な実践

- 発信に関わる単元計画の作成
言語能力、情報発信能力、課題発見・解決能力の育成に活用できる単元を教科等の年間計画から見つけ、教科等横断的に発信のゴールにつなげる。
- 発信計画・振り返りの充実
発信した相手からの反応や評価をもとに、発信の目的が達成されたか振り返り、次の発信につなげる。
- 発信や受信の場の積み重ね
様々な教科、学校生活の中で発信の場作りを行う。

4. 成果

- 児童に多くの発信の経験をさせることができた。
- 発信単元計画によってこれまで以上に教科等横断的な視点で身につけるべき力とゴールの児童の姿をつなぐことができた。

◆担当指導主事から

- 全職員で研修を深め、全校体制で研究に取り組むことや、単元計画を作成し、身につけるべき力とその力が活用される単元を明確にして指導することで、児童に力がついてきている。
- 発信した相手からの反応や評価から、自身の発信を振り返る活動は、発信する力の改善だけでなく、意欲も向上させる有効な手立てと考える。次年度も研究を深めていただきたい。